



●災害用炊飯袋(ハイゼックス)を使用した炊き出し訓練を行う小学生メンバー



合言葉は「気づき・考え・実行する」 青少年がリーダーシップについて学び深める



●竹ひごタワー作りを通して、それぞれのリーダー性を発揮し、協力しあうことの大切さを学ぶ中学生メンバー

現在、徳島県内の学校(小・中・高)291校、幼稚園28園が青少年赤十字(JRC)に加盟し、「気づき」「考え」「実行する」を合言葉に様々な活動を行っています。

青少年赤十字の中で最も特徴のあるプログラムの1つに、『青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(以下「トレセン」)』があります。トレセンは子どもたちが自ら課題に気づき、考えを深め、実行する力を身につける教育プログラムです。

今年は、小学校の部を8月8日・9日に板野町板野東小学校で、中学校の部を7月25日・26日、高等学校の部を8月1日・2日に日本赤十字社徳島県支部にて開催しました。県内の小・中・高校生22校59名が参加し、初めて出会う仲間達と2日間、赤十字の歴史をは



●避難所運営ゲームで避難者を思いやりながら避難所内の配置を考える高校生メンバー

じめ、災害の知識と行動力を身につける「防災教育プログラム」や「炊き出し訓練」、救急法の基礎となる「心肺蘇生法とAEDの使い方」など、様々な知識や技術を学びました。

トレセンでは、ある特定のメンバーだけがリーダーシップを取るのではなく、グループのメンバー全員が「リーダーシップの取り方を学ぶこと」を目指します。

そのため、学校とは大きく違い、指導者からの指示や号令、チャイムはなく、子どもたちは随時更新される掲示板の情報と時計を確認しながら、注意深い生活を過ごす中で、自主・自立の精神を身につけました。

参加者には2日間のトレセンで学んだリーダーシップを活かして、学校や地域で活躍することを期待しています。

児童・生徒

トレセン参加者の感想

トレセンに参加して5分前行動ができるようになりました。(小学生)

リーダーは1人しかいないと思っていたが、誰でもリーダーになれることを知りました。(中学生)

自分のあるべきリーダー像を再確認することができました。(高校生)

引率教員

学校での様子と違い、自分で考えて自主的に行動する姿を見ることができました。

生徒が徐々に気づき、考え、実行できていて、変化や成長が感じられました。

指導者からの指示が最小限に抑えられており、自主的な活動ができていました。



大阪・関西万博に赤十字も出展!

2025年4月に開幕する大阪・関西万博には、赤十字の理念を伝える「国際赤十字・赤新月運動」のパビリオンが出展されます。

開催期間/2025年4月13日(日) - 10月13日(月)



パビリオンについてのホームページはこちら



徳島赤十字病院

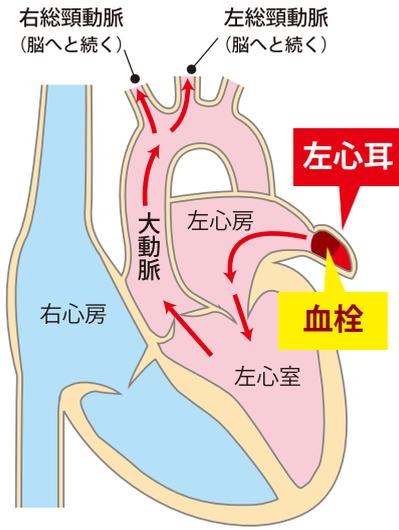
心房細動の治療に新しい手技—胸腔鏡下左心耳閉鎖術—

徳島赤十字病院 心臓血管外科 元木 達夫

心房細動とは心臓の一部に異常が起り細かく震える不整脈のことです。心房の震えによって血流が滞り血栓が生じると、脳梗塞の原因になることがあります。血栓の予防のためには血液をサラサラにする抗凝固療法を行います。ワーファリンなどの薬に加え、最近では直接経口抗凝固薬（DOAC）の登場で治療が行いやすくなりましたが、服薬していても脳梗塞を起こす可能性や脳出血、消化管出血の症例がみられるのも事実です。

そこで当院では2023年4月から「胸腔鏡下左心耳閉鎖術」と呼ばれる手術

を開始しています。この手術では、心臓の左心耳という部分を閉じることで、血栓の発生を防ぎ、脳梗塞を予防します。主に慢性の心房細動の患者さまを対象に行っています。一般的な開胸手術よりも傷口は小さく、手術の翌日にドレーンと呼ばれるチューブを抜去し、経過に問題がなければ術後3日で退院が可能となる、からだへの負担が少ない治療法です。脳梗塞の再発予防や消化管出血による合併症があり、抗凝固薬を投与しにくい患者さまにも治療が広がっています。



●左心耳の場所



●傷やドレーンの痕

「痛い! つらい!」が減らせる、からだにやさしい治療

低侵襲と呼ばれる「からだにやさしい治療」とは、胸に数か所の小さな穴を空け胸腔鏡を用いて処置をする胸腔鏡手術など、痛みや出血を最小限に抑える治療法です。従来のように、大きく胸を

切る開胸手術などに比べてからだへの負担が少ない治療法になります。

当院では、胸腔鏡下左心耳閉鎖術の他にも多数の診療科でからだにやさしい治療法を積極的に取り入れております。

●ホームページはこちら

徳島赤十字病院 からだにやさしい治療センター

からだにやさしい治療をピックアップして掲載しています。



徳島赤十字ひのみね医療療育センター

医療的ケア児者の防災について学ぶ!

7月13日に、徳島赤十字ひのみね医療療育センターにおいて、人工呼吸器や痰の吸引などが必要な医療的ケア児者の防災について考えるイベント、「医療的ケア児者の災害対応デイキャンプ」が開催されました。医療的ケア児者とそのご家族及び支援者およそ100名が参加し、災害で長時間停電した場合の対応などについて学びました。

ブースでは人工呼吸器や経腸栄養ポンプなどの医療機器、蓄電池や発電機などの電源装置を展示。参加いただいたご家族の協力のもと、蓄電池と人工呼吸器を接続する実演も行われ、多くの参加者と自助の重要性を共有することができました。

イベント後には、「災害時の電源確保がいかに大事が知ることができた」

「実際に見て、説明を受けられたことがよかった」などのお声をいただきました。



●参加者の前で実際に蓄電池と人工呼吸器を接続する様子

ひのみね美術館

徳島赤十字ひのみね医療療育センターの施設内には、写真や絵画、マスキングテープアートなど様々な美術作品が展示されています。入所者が描い

た絵画作品や、通所事業利用者が作成に携わった作品もあり、施設内を華やかにしてくれています。



●入所者、通所利用者による絵画・作品



●通所利用者によるマスキングテープアート



徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院

毎日泣き声はもちろん! 笑い声も笑顔もいっぱい!

●乳児院とは?

徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院は、様々な事情で家庭での養育が困難な乳幼児を、24時間体制でお預かりしている県内唯一の施設です。出生後数日からおおむね3歳までの子どもたちが共に生活しており、できる限り家庭に近い環境となるよう、4~6人の少人数で生活する小規模保育を現在3部屋実施しています。また、入所から退所まで一人の養育者(保育士、看護師など)が担当することにより、愛着関係をしっかり構築し、子ども一人ひとりに寄り添いながら必要な支援を提供できるよう心がけています。



●午睡前の読み聞かせ

●子どもたちの生活

子どもたちは朝6時に起床し、20時頃には布団に入る規則正しい生活をしています。日中は寒い日も元気いっぱいお外で遊びます。社会経験を養うために買い物へ出かけたり、近隣高校の生徒さんと一緒に芋ほりを行うなど交流を深めています。また、誕生日や季節の行事を大切にしており、七五三や食べ初めなど、大切な節目の行事には、保護者にも声をかけて参加してもらうようにしています。イベントも盛りだくさんで春は運動会や遠足、冬はクリスマス会やお正月、節分(豆まき)などがあり、子どもたちはとても楽しみにしています。



●浴衣姿で七夕の会

●里親について

令和3年度から徳島県の委託を受け、里親支援にも取り組んでいます。子どもたちが自分らしく生きるためには家庭で暮らす経験が必要です。「里親制度」を広く知っていただくため、乳児院では、里親制度説明会やパネル展を開催しています。まずは知ることから始めてみませんか?

制度の詳細についてはこちらをご覧ください。▶



●七五三



●お問い合わせ
徳島赤十字ひのみね医療療育センター
附属乳児院 TEL.0885-32-0555

地域に根付いた赤十字活動を紹介します

手作り募金箱で赤十字活動支援を呼びかけ

青少年赤十字加盟校である神山町広野小学校から、子どもたちが地域で集めた募金を、赤十字活動支援費として日赤徳島県支部にご寄付いただきました。

この募金は、子どもたちが赤十字の活動について学び、「困っている人たちのために何ができるのか」を考え、地域で開催された「神山マルシェ」に参加して、来場者に募金を呼びかけ集めたものです。子どもたちの思いの詰まった



●「神山マルシェ」の来場者へ募金を呼びかける児童
募金はいのちと健康、尊厳を守る赤十字活動に活用させていただきます。

「救急の日」にAEDの管理方法等を学ぶ

2004年にAEDの一般使用が認められて今年で20年の節目を迎えたことを受け、管理方法や使用方法を再確認することを目的とした研修会を日赤徳島県支部で開催し、市町村(地区・分区)の赤十字担当者等29名が参加しました。

参加者はAEDの必要性や救命事例などを学んだ後、AEDの点検や管理方法などを確認。その後、蘇生人形を使って心肺蘇生やAEDの実技訓練を行いました。参加者からは、



●真剣な表情で、AEDの電極パッドの交換方法を確認する参加者
「万一の際には、今日学んだことを活かして、みんなで連携して尊い命を救いたい」などの声が聞かれました。

赤十字活動資金 キャッシュレス寄付!

クレジットカード・Amazon Pay / 振込以外でも、ご支援いただけます!



皆様の思いの詰まった義援金・救援金、心からお礼申し上げます。

能登半島地震災害義援金

- 日本赤十字社受付額
433億7,625万3,012円 (R6.10.23現在)
- 徳島県支部受付額
1億4,273万3,584円 (R6.10.31現在)

※義援金は、全額が被災地に届けられ、被災地の方々の生活支援に役立てられます。

台湾東部沖地震救援金実績

- 日本赤十字社受付額
28億9,825万6,045円 (R6.6.28終了)
- 徳島県支部受付額
7,471万4,400円 (R6.6.28終了)

※救援金は、赤十字が行う被災者支援に役立てられます。

赤十字奉仕団が、小学校で防災学習会を開催

勝浦町赤十字奉仕団主催による防災学習会が、9月26日、生比奈小学校で開催されました。同奉仕団による小学校での防災学習会は今回が初めてで、全校児童や保護者、地域の防災士など約200人が参加しました。

子どもたちは自分たちの地域の災害リスクや非常食の備蓄のポイント、事前の防災行動計画(マイタイムライン)などを講義で学んだほか、奉仕団員の指導のもと災害用炊飯袋を使った炊き出しや防災クイズ、新聞スリッパ



●児童と災害用炊飯袋を使った炊き出しを行う赤十字奉仕団員
作り、身近な物を使った応急手当などを体験。子どもたちは、熱心に学習に取り組み、災害時に必要な知識や技術を身に付けました。



徳島県赤十字血液センター

『少しでも多くの方に“献血のこと”を知ってもらいたい』

徳島県赤十字血液センターでは、年々減少傾向にある若年層（10～30代）の献血者の増加を目指し、様々な取り組みを行っていますが、そもそもなぜ献血が必要なのでしょうか？

献血していただいた血液は、様々な原因で輸血が必要な患者さんの治療や、血漿分画製剤という薬を造るために使用されています。輸血用血液製剤は、医療技術が進歩した今日でも人工的につくることができず、長

期保存もできません。そのため、日々献血への協力をお願いしています。

7月4日に、JR徳島駅前で献血の広報活動を実施しました。通勤・通学される方の多い時間帯に合わせ、300部のチラシを配布し、献血協力の呼びかけを行いました。その中で、中学生から、「学校の先生にも渡したいので、何部かいただけませんか？」、「どこにいったら献血できるのですか？」など、興味をもった前向きな声をいただきました。

後日、声をかけていただいた生徒の学校から「献血について生徒に教えて欲しい」との依頼があり、中学生3名が徳島県赤十字血液センターを訪れ、献血の現状や必要性などをお話させていただきました。

一人でも多くの方に“献血のこと”についてご理解いただけるよう、これからも積極的に活動してまいります。献血について少しでも興味がある方は、徳島県赤十字血液センターまでお気軽にお問い合わせください。

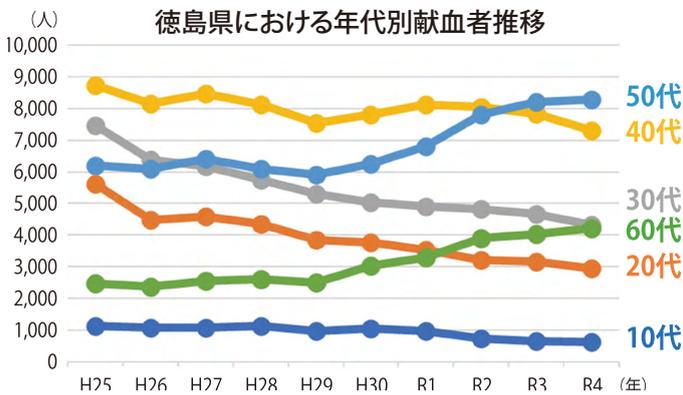
●お問い合わせ 徳島県赤十字血液センター TEL.088-631-3200



●7月4日JR徳島駅前にて献血の広報活動を実施



●献血について学ぶ中学生



ラブラッドとは

ラブラッドは日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web会員サービスです。

Webサイト・アプリ、どちらからでも献血の予約、

事前の問診回答などが可能になりました。

献血会場での混雑の回避、滞在時間の短縮、接触機会の削減ができるので、

安心して安全、より手軽に献血協力ができます。

スマホアプリ版が
はじまりました！



献血のWeb予約の受付時間が
献血時間の3時間前に
変更になりました！

※献血会場によっては
当日予約ができない場合があります。

事前問診回答はご来場される
15分以上前までに済ませて
いただくようお願いいたします。



ラブラッドアプリは、
こちらからダウンロードください。



※ Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。 ※ App Store は Apple Inc. のサービスマークです。 ※ Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

献血のご協力はコチラ

献血ルーム アミコ

●受付時間： 9:30～13:00

14:00～17:00

(成分献血は16:00まで)

※アミコ専門店街の開店前及び休館時は3Fシビックセンター広場入口か1F郵便局横入口をご利用ください。

●定休日：毎月第1・3火曜日

※悪天候時及び年末年始には臨時休業させていただきます場合がありますので、お問い合わせください。

●住所：徳島市元町1-24

アミコビル3F (JR徳島駅前)

●電話番号：0120-688-950

●右の①～④の駐車場をご利用ください。

※献血に要した時間分のサービス券をご用意しております。



献血中も
TV視聴



Free-WiFi
あります



充実の
フリードリンク

献血バス

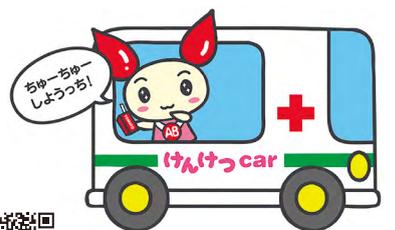
●徳島県内を巡回中の献血バスで、
ご協力いただけます。

(400mL献血のみ)

●電話番号：0120-688-994

●献血バスの日程は
徳島県赤十字血液センター

ホームページでご案内しています。



Instagram 始めました

献血の基準や献血スケジュール、
キャンペーン情報は
Instagramでも確認できます。

●日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します●

日本赤十字社徳島県支部事務局
徳島赤十字病院
徳島県赤十字血液センター

徳島市庄町三丁目12-1
小松島市小松島町字井利ノ口103番
徳島市庄町三丁目12-1

TEL.088-631-6000
TEL.0885-32-2555
TEL.088-631-3200

徳島赤十字ひのみね医療療育センター
徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属支援施設
徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院

小松島市中田町字新開4-1 TEL.0885-32-0903
小松島市中田町字新開4-1 TEL.0885-32-0903
小松島市中田町字新開2-2 TEL.0885-32-0555